



クリスリスの

目撃情報を集めています



目の周りに
縁取りがない



耳は小さく丸い



見かけても
触らないでください

栗色or灰色の
お腹



エサを食べるときは、
尾を垂らしたまま



見かけたら…

右記二次元コードのフォームもしくは浜松市HPのフォームから、目撃情報の提供をお願いします。情報は生態系の保全のための計画に活用させていただきます。※生息範囲を把握するために情報を集めているもので、個別の捕獲依頼に対応するものではありません。野生生物ですので見かけても触らないでください。法律により許可なく捕獲、飼育、運搬、放出することなどが禁止されています。



<https://logoform.jp/f/SAp0z>



飼わない



動かさない



放さない

クリハラリスってどんな動物？

タイワンリスともいいます。

ニホンリスよりひと回り大きく、本来の生息地はインド東部から中国南東部、台湾で、もともとは日本には生息していませんでした。

日本では、昭和初期から家庭での飼育や動物園等での展示を目的に輸入されたものが逃げ出した又は生井されたことにより野生化しています。

特徴



耳は小さく丸い

目の周りに縁取りがない

お腹が栗色または灰色

エサを食べるときは、
尾を垂らしたまま

↓ 特徴的なかじり跡を残す

鋭い上限の門歯(切歯)でかじるため、かじり跡がギザギザ



↓ 木の幹に横筋(環状剥皮)を付ける ↓ 枝と樹皮を集めたボール状の巣を作る



ニホンリスとの違い

浜松市内には、日本固有種であるニホンリスが生息しています。

[ニホンリスの特徴]

- ・クリハラリスよりも一回り小さい
- ・目の周りに白い縁取り
- ・お腹が白色
- ・エサを食べるときに尾を背に乗せる
- ・夏毛は脚の付け根がオレンジ色
- ・冬に耳の毛(房毛)が伸びる



↑ニホンリス(夏毛)



↑ニホンリス(冬毛)

特定外来生物とは

生態系や農林水産業、人の生命・身体へ被害を及ぼす又は及ぼすおそれがあると認められる外来生物として外来生物法に基づき指定されたもので、飼育・栽培、生きたままの運搬、輸入、野外への放出、譲渡などが規制されています。

市内では、アライグマやクリハラリス、ヌートリアなどの特定外来生物が確認されています。



目撃情報の
提供はこちら



<https://logoform.jp/f/SApoz>

浜松市環境部環境政策課

浜松市中央区鴨江三丁目1-10

Mail : kankyoku@city.hamamatsu.shizuoka.jp

TEL : 053-453-6149

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



発行：令和7年11月